

第 2 期 豊明市
まち・ひと・しごと創生総合戦略
(2024 改訂版)



2020 年度～2025 年度
(令和 2 年度～令和 7 年度)

目次

はじめに	1
1. 第2期総合戦略策定の趣旨	1
第1期「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果	2
1. 基本目標における指標及び創生事業における KPI の進捗結果	2
基本目標1の評価結果	2
基本目標2の評価結果	2
基本目標3の評価結果	3
基本目標4の評価結果	3
2. 地方創生関係交付金対象事業	3
第2期総合戦略の概要	4
1. 概要	4
2. 策定期間	4
3. 人口ビジョンの位置づけ	4
人口の将来展望	5
豊明市人口の長期的な見通し	5
基本目標1 しごと活力創生プロジェクト	8
1. 基本目標の概要	8
2. 数値目標	8
3. 基本的な方向	8
4. 主な創生事業	8
施策1：地域の経済活動が盛んなまちをつくる	8
施策2：若い人たちの地元での就労を促進する	9
基本目標2 ひとが集うまち創生プロジェクト	10
1. 基本目標の概要	10
2. 数値目標	10
3. 基本的な方向	10
4. 主な創生事業	10
施策1：若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する	10
施策2：とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる	11
施策3：とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす	11

基本目標 3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト	12
1. 基本目標の概要	12
2. 数値目標	12
3. 基本的な方向	12
4. 主な創生事業	13
施策 1：子どもを安心して産み育てられるまちをつくる	13
施策 2：子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる	13
施策 3：女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる	13
基本目標 4 暮らしの満足創生プロジェクト	14
1. 基本目標の概要	14
2. 数値目標	14
3. 基本的な方向	14
4. 主な創生事業	14
施策 1：市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する	14
施策 2：自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる	15
横断的取組 1 あらゆるひとが活躍できるまちをつくる	16
1. 横断的な取組の概要	16
2. 基本的な視点	16
3. 主な創生事業（基本目標に位置付けられた創生事業から抜粋）	16
視点 1：高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる	16
視点 2：多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる	16
横断的取組 2 新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる	17
1. 横断的な取組の概要	17
2. 基本的な視点	17
3. 具体的な取組	17
視点 1：次世代技術を利活用し、行政・住民サービスの向上を目指す	17
視点 2：SDGs の達成に向けた取組を推進する	18
参考資料	19
1. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定体制	20
2. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会	21

はじめに

1. 第2期総合戦略策定の趣旨

地方創生は、東京圏への人口の過度の集中を是正し、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としています。2014年9月、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）が制定され、内閣にまち・ひと・しごと創生本部が設置されました。同年12月には、2060年に1億人程度の人口を維持するなどの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（以下「長期ビジョン」という。）が策定され、併せてまち・ひと・しごと創生法に基づき、5か年の目標や施策の基本的方向等をまとめた、第1期（2015年度から2019年度まで）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。

国の枠組やまち・ひと・しごと創生法の趣旨を踏まえ、少子高齢化と人口減少という危機感を共有しながら、本市においても、国同様の期間で「豊明市人口ビジョン」（以下「人口ビジョン」という。）並びに第1期の「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第1期総合戦略」という。）を策定しました。

その後、2019年12月に国では「長期ビジョン」の改訂版と、2020年度を初年度とする第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「継続は力なり」という姿勢を基本とし、地方創生の動きを更に加速していくとしています。

こうした動きのもと、本市においても、期間を延長した人口ビジョンにおいて掲げている2025年に71,000人、2060年に61,000人の人口を確保するという目標を堅持し、4つの基本目標に基づいた地方創生事業を推進しつつ、Society5.0¹の実現や、SDGs²の推進など、時代に即した地方創生を、継続的かつ切れ目なく進めていくため、第2期の「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第2期総合戦略」という。）を策定しました。

¹ サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

² 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された持続可能な開発目標（詳細は16ページ記載）

第1期「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果

1. 基本目標における指標及び創生事業における KPI の進捗結果

第1期総合戦略については、基本目標ごとに指標を設定し、指標における目標値を達成するために、基本目標に紐づく施策である「創生事業」に重要業績評価指標（KPI）を設定することで進捗管理を行ってきました。

第1期総合戦略の最終年度である 2019 年度の実績を、国の評価方法に準じて評価した結果、基本目標における指標については、全項目のうち 47.1%が目標に向け進捗しており、KPI については全項目のうち、64.2%が目標に向け進捗しているという結果となりました。各基本目標の進捗内訳は次のとおりです（詳細な内訳については、別紙「豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略の KPI の評価結果について」（以下「KPI 評価結果」という。）に記載）。

基本目標		①目標達成に向け進捗している	②現時点では目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない	③現時点では、統計上実績値の把握不可能なもの※
1	指標	0 項目（0.0%）	4 項目（100.0%）	0 項目
	KPI	10 項目（58.8%）	4 項目（41.2%）	3 項目
2	指標	4 項目（80.0%）	1 項目（20.0%）	0 項目
	KPI	14 項目（77.8%）	4 項目（22.2%）	0 項目
3	指標	1 項目（20.0%）	4 項目（80.0%）	0 項目
	KPI	10 項目（62.5%）	6 項目（37.5%）	0 項目
4	指標	3 項目（100.0%）	0 項目（0.0%）	0 項目
	KPI	9 項目（90.0%）	1 項目（10.0%）	0 項目

※③については外的要因等により実施が困難なもの、未実施のもの等

基本目標 1 の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」7～10 ページ）

法人市民税額の減少については、税率変更等の外的要因による影響はあるものの、市民のうち市内で働きたいと思っている若者の割合など他の指標についても減少しており、働く場の創出や、若い人達が地元企業に就職したいと感じる魅力づくりなど、国の第2期総合戦略で掲げている「稼ぐ地域づくり」を一層推進していく必要があります。

基本目標 2 の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」11～14 ページ）

転入者数や市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数などが目標値を達成しており、「親との同居・近居購入費補助事業」、「花のまちとよあけ推進強化事業」などの創生事業により、市全体の魅力づくりには一定の効果を示すことができました。

た。第2期総合戦略では、さらにシビックプライド³の醸成や関係人口⁴の拡大・創出など市内外への魅力づくりを行っていきます。

基本目標3の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」15～18 ページ）

職場で働きやすいと思っている女性の割合については目標値を達成していますが、市内1,000人あたりの出生率が横ばいであるのに対して、合計特殊出生率、0～14歳の子ども数などが減少しています。第2期総合戦略では、本市での子育てを楽しいと感じる市民の増加に向け、交流・まなび・あそび・子育て支援拠点となる共生交流プラザの整備や管理運営、ネウボラ事業などの創生事業で一層の充実を図っていきます。

基本目標4の評価結果（詳細は「KPI 評価結果」19～20 ページ）

医療や福祉施設、制度利用者の満足度などのすべての指標において目標値を達成しており、第1期総合戦略に位置付けられた創生事業の実施が市民の暮らしの満足度の増加につながったといえます。第2期総合戦略では、さらに多様な主体者が活躍できるまちづくりを目指します。

2. 地方創生関係交付金対象事業

「地方版総合戦略」に位置付けられ、地域再生法に基づく地域再生計画に認定される地方公共団体の自主的・主体的な取組で、先導的な事業については、「地方創生推進交付金」の対象となり、国より交付対象事業費の1/2を上限として国からの支援を受けることができます（地方負担分についても財政措置があります。）。第1期総合戦略では次の創生事業が交付対象事業として認定を受けました。第2期総合戦略についても、地方創生関係交付金を積極的に活用できるよう創生事業の選定を行っています。

【地方創生推進交付金対象事業（第1期総合戦略）】

事業名	事業期間	交付金充当額総額 (2019年度まで)
地域ブランド「とよあけ花マルシェ」事業	2016-2018	5,925 千円
駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業	2018-2020	3,500 千円
高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業	2018-2020	11,270 千円
人材確保定着支援事業（マチリク事業）	2019-2021	1,080 千円
花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト推進事業	2019-2021	1,526 千円

³ 市民をはじめとした市に関わる多くの人々が、市に誇りと愛着をいだくこと

⁴ 「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々

第 2 期総合戦略の概要

1. 概要

国の掲げた 4 つの基本目標及び 2 つの横断的な目標を元に、市では 4 つの基本目標と 2 つの横断的取組を次のように設定し、豊明市における地方創生や、地域課題解決のため、第 5 次豊明市総合計画との整合性をとりながら取組を進めていきます。

また、第 2 期総合戦略では、SDGs（詳細 18 ページ）の理念に沿って地方創生を推進することとしているため、それぞれの基本目標に SDGs に設定されている 17 ゴールのうち、主なゴールを紐づけています。

基本目標	
基本目標 1	しごと活力創生プロジェクト
基本目標 2	ひとが集うまち創生プロジェクト
基本目標 3	子どもの学びと育ち創生プロジェクト
基本目標 4	暮らしの満足創生プロジェクト

横断的取組	
横断的取組 1	あらゆるひとが活躍できるまちをつくる
横断的取組 2	新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる

2. 策定期間

2020 年度から 2025 年度までの 6 年間とし、第 1 期総合戦略から切れ目のない取組を実施していきます。

3. 人口ビジョンの位置づけ

本市は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国・愛知県の「長期ビジョン」を勘案しつつ、目指すべき将来の方向や、2060 年までの人口の将来展望を提示する「豊明市人口ビジョン」を策定しています。「豊明市人口ビジョン」では、2020 年の人口推計が 69,032 人（人口推計結果（次頁表 1））に対し、2020 年 3 月 31 日現在の人口 69,027 人（住民基本台帳（以下住基）ベース）と基本推計（趨勢による推計）と実績に大きな差異はないため、第 2 期総合戦略においても目標の下方修正等、人口ビジョンの改定は実施せず、人口ビジョンの期間を 2025 年度まで延長することとし、2025 年に 71,000 人、2060 年に 61,000 人の人口を確保し、持続的な地域運営を目指すことを目標に、第 2 期総合戦略を推進していきます。以下人口ビジョンより抜粋。

人口の将来展望

- 人の流れを変える 人口の流出に歯止めをかけ、流入を目指す
- 出生率を向上させる 安心して出産、子育てができる環境、社会づくりを進める
- 活力ある地域をつくる 選ばれるまちになるために、まちの魅力を高める

豊明市人口の長期的な見通し

○基本推計（趨勢による推計）

- ・出生率 現状程度で推移（住基から算出した 1.39 で推移）
- ・社会移動 現状で推移（若い世代が継続流出）

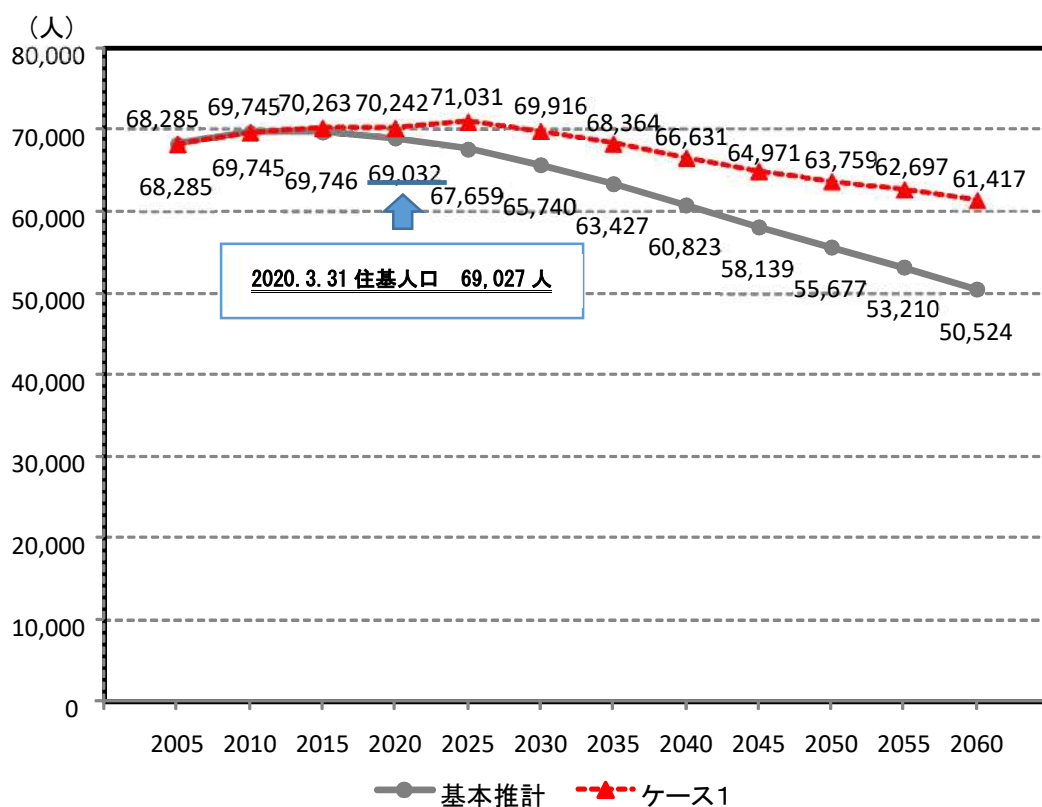
○想定ケース（施策実施後の推計）

- ・出生率 2040 年に 1.8 に上昇
- ・社会移動 計画予定の区画整理事業などの開発による人口増加を考慮



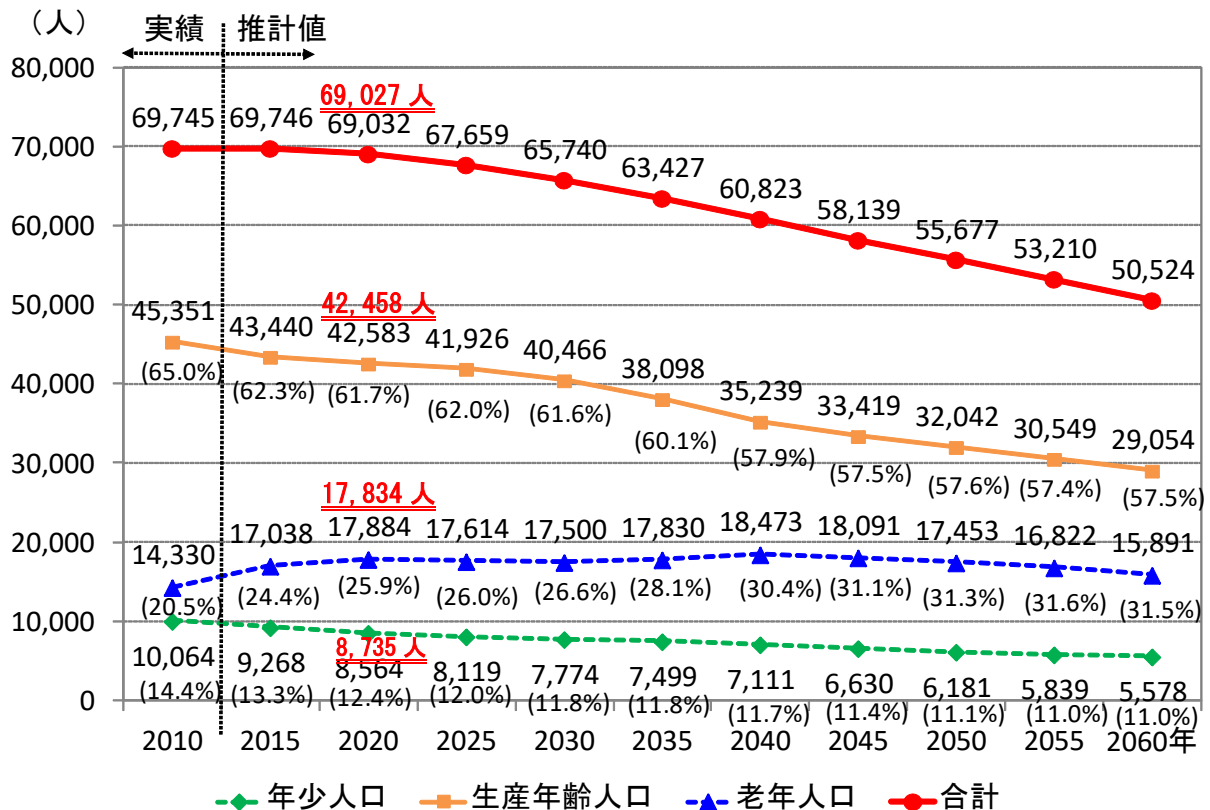
想定ケースが実施できれば、2025 年に 71,000 人、2035 年には 68,400 人がそれぞれ確保でき、2060 年も 61,000 人を確保できる。また、人口ピラミッドも安定的なものに推移し、持続的な地域運営が可能になる。

○表 1 豊明市人口推計結果（豊明市人口ビジョン抜粋）

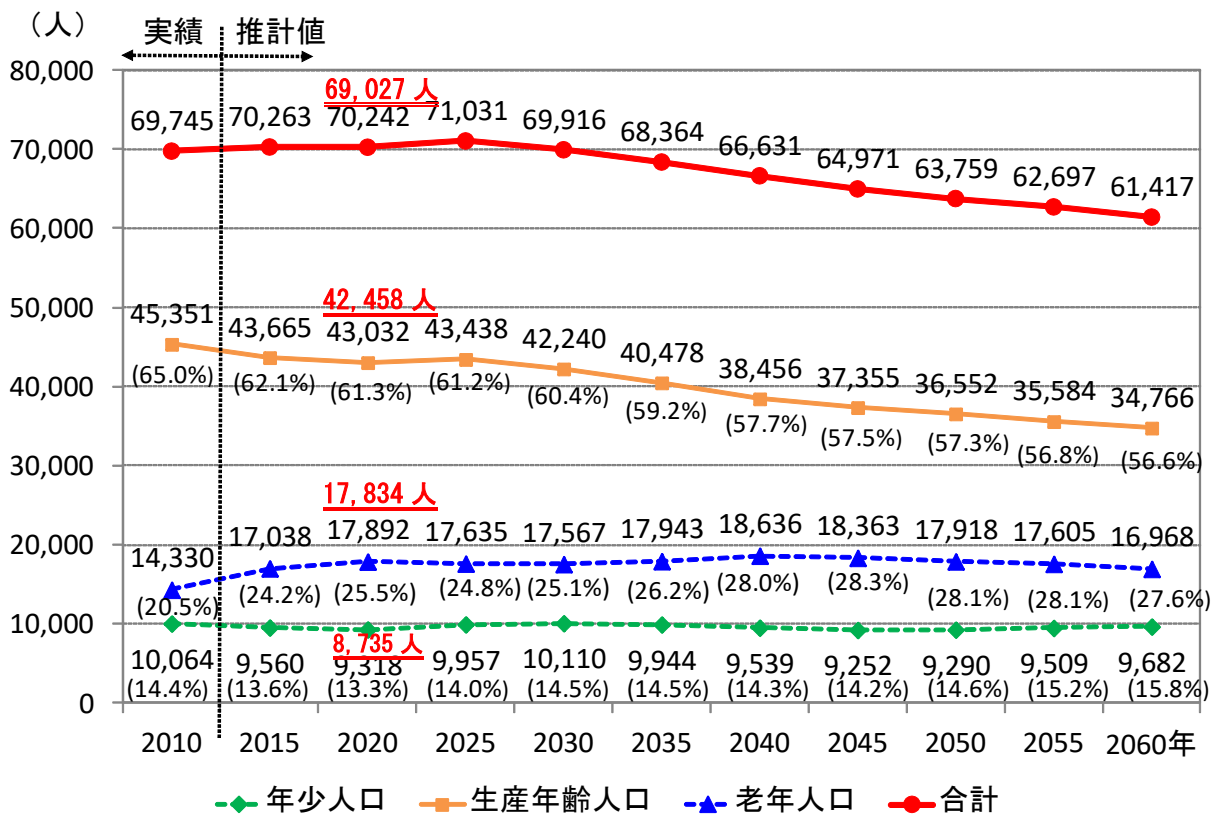


○表2 年齢3区分別の人口推計結果

基本推計（趨勢による推計） ※二重下線値は2020. 3. 31 住基人口（実績値）



想定ケース（施策実施後の推計）



基本目標ごとの主な創生事業

○基本目標1

しごとと活力創生プロジェクト

生産性が高く、働きがいを感じる企業が多いまちをつくる



1. 基本目標の概要

豊明市の雇用を支え続けることができるよう、市内企業の持続的な経営のための支援や、活発な起業・創業を促す環境を構築します。

併せて、軽トラ市の開催などにより、地域産業の活性化を図ります。

また、工業用地の整備検討や、企業立地に係る支援など、雇用の場の創出を進めていきます。人材確保定着事業やユニバーサル就労推進事業など、若者を含めたあらゆる人達が、豊明市で暮らし、働き続けることができるよう人材支援を行います。

2. 数値目標

指標	基準値（2019）	目標値（2025）
法人市民税額※	589,317 千円	589,317 千円
起業・創業件数※	38 件	124 件
市内就業者のうち市内在住者数※	1,098 人	2,014 人
市内在住者で市内で働きたいと思っている若者の割合※	46.5%	62.8%

（※：第5次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。）

3. 基本的な方向

施策1：地域の経済活動が盛んなまちをつくる

施策2：若い人たちの地元での就労を促進する

4. 主な創生事業

施策1：地域の経済活動が盛んなまちをつくる

①魅力ある職場づくりを促進する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
起業・創業者支援事業	創業支援対象者数	人／年	41	55
新規就農者の受入れ事業	新規就農者数	人／年	2	2

② 産業の活性化を図る

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
軽トラ市の開催事業	軽トラ市開催数	回／年	10	13
空き店舗を活用した活性化事業	空き店舗活用補助件数	件／年	0	2

施策２：若い人たちの地元での就労を促進する

① 若い人たちが働ける場をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
企業立地支援事業	新規立地企業数	企業(累計)	11	40
工業団地整備検討事業	柿ノ木工業団地整備事業進捗率	%	0	100
プロフェッショナル人材等の就職支援事業	若年者就職相談件数	件／年	87	170

② 若い人たちと企業をつなぎ、人材の確保・育成を図る

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
社宅整備等支援事業	補助件数	件／年	4	10
ユニバーサル就労推進事業	推進事業利用者の就労人数	人／年	－	5

○基本目標 2

ひとが集うまち創生プロジェクト

誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる



1. 基本目標の概要

名古屋市に隣接する立地特性を活かした若年世代や子育て世帯の移住・定住を促進するため、三世帯同居・近居、空き家の活用などを推進します。

また、「花の街とよあけ」としての魅力を高めるとともに、古戦場を活かしたまちづくりを進めるなど、豊明市の特徴的な地域資源のさらなる磨き上げを図り、市内外の人・民間企業と豊明市との関わる機会を増やし、シビックプライドの醸成及び関係人口の拡大・創出を目指します。

2. 数値目標

指標	基準値（2019）	目標値（2025）
転出者数（年間）※	3,485 人	2,793 人
転入者数（年間）※	3,715 人	3,959 人
桶狭間古戦場関連の観光客数（年間）	51,303 人	63,500 人
ふるさと納税の寄附金額※	24,340 千円	43,000 千円
市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介された件数※	302 件	350 件

（※：第 5 次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。）

3. 基本的な方向

施策 1：若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

施策 2：とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

施策 3：とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

4. 主な創生事業

施策 1：若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

① 住み続けられる住宅・環境を確保する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
親との同居・近居購入費補助事業	補助件数	件／年	286	300
住居系市街地の整備促進事業	寺池土地地区画整理事業進捗率（事業費ベース）	%	1	100
	間米南部土地地区画整理事業進捗率（事業費ベース）	%	0	59

施策２：とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

① 地域資源を活かしたまちづくりを推進する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
古戦場まつり開催事業（観光協会事業）	来場者数	人／年	35,480	40,000
史跡を活用した誘客事業	観光ガイドの利用客数	人／年	12,838	20,000
桶狭間関連商品の開発事業	桶狭間関連新商品開発数	商品(累計)	0	20

施策３：とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

① 人や企業とのつながりの創出、拡大を推進する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
花で起こす！豊明ローカルイノベーションプロジェクト推進事業	とよあけ花マルシェ商品の販売金額	千円／年	5,334	9,000

② とよあけの魅力を域内外へ発信する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
情報発信事業（観光事業）	観光 Web サイト年間閲覧件数	件／年	61,998	80,000
ホームページ管理事業	年間アクセス件数	万件／年	30	36

○基本目標 3

子どもの学びと育ち創生プロジェクト

教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる



1. 基本目標の概要

妊娠から出産、就学前までの子育て期の切れ目のない支援を行い、さらに、女性が活躍できる場を増やすなど地域一体となり、仕事と子育てを両立し子育てを見守り支えるまちづくりを推進します。

また、交流・まなび・あそび・子育て支援拠点となる共生交流プラザの整備や管理運営、学校運営協議会の設置などにより、地域と子どもとの関係をより密接なものにし、地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境づくりを行います。

併せて、教育の面でも地域の特性を生かして教育の機会の充実を図り、親が安心して働ける環境を整備します。

2. 数値目標

指標	基準値（2019）	目標値（2025）
0～14 歳の子どもの数※	8,732 人	10,445 人
豊明市の出生率（人口 1,000 人に対する出生数）※	8.0 人	10.1 人
合計特殊出生率	1.31 人	1.60 人
子育てが楽しいと思っている市民の割合※	83.4%	92.3%
職場で働きやすいと思っている女性の割合※	50.0%	56.7%
待機児童数（10 月 1 日時点）	15 人	0 人

（※：第 5 次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。）

3. 基本的な方向

施策 1：子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

施策 2：子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

施策 3：女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

4. 主な創生事業

施策１：子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

① 仕事と子育ての両立ができる環境をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
ネウボラ事業	支援プラン作成件数	件／年	60	60
休日保育、延長保育事業	18:30 までの土曜日延長 保育実施割合	%	100	100
放課後子ども教室事業	実施校数	校	7 (2021)	8
子連れ出勤事業	子連れ出勤普及啓発事業 委託事業者数	件（累計）	2 (2024)	4

施策２：子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

① 地域ぐるみで子どもを育て見守る環境をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
共生交流プラザ管理運営事業	延べ利用者数	人／年	－	250,000
学校運営協議会推進事業	学校運営協議会の設置数	箇所(累計)	1	11

② 地域の特色を活かした教育を充実させる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
定住外国人日本語教育推進 プレクラス・プレスクール事業	プレクラス等年間受け入れ人数	人／年	41	60
日本語指導推進事業 (2022 追加)	日本語指導が必要な児童生徒数のうち専門員が対応した児童生徒数の割合	%	60 (2021)	80
英語検定受験料補助事業	英語検定受験料補助件数	件／年	210 (2023)	250

施策３：女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

① 職場で女性の活躍の場を増やす

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
男女共同参画講座	受講者数	人／年	831	860

○基本目標 4

暮らしの満足創生プロジェクト

都市機能が充実し、安全・安心で暮らしの満足度の高いまちをつくる



1. 基本目標の概要

豊明市と関わりを持つ人すべてが、様々な分野でお互いにつながりあう機会を創出し、多様な主体者が連携して行動できるようまちづくりを目指します。

併せて、立地適正化計画に基づき、日常生活に求められる機能がコンパクトに集約したまちづくりを推進するとともに、医療・介護・福祉環境や公共交通網が整備された、安全で安心して暮らし続けることができる環境を整備します。

2. 数値目標

指標	基準値（2019）	目標値（2025）
医療や福祉施設、制度の利用者の満足度※	63.9%	67.7%
市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合※	62.1%	73.0%
自分達の考えが地域の活動に取り入れられていると思う若者の割合※	16.1%	34.0%

（※：第5次豊明市総合計画のまちづくり指標を用いています。）

3. 基本的な方向

施策1：市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

施策2：自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

4. 主な創生事業

施策1：市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

① 多様な主体者が連携して、行動できる環境をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
いきいき笑顔ネットワーク事業	ICT で情報共有できている患者数	人(累計)	727	1,250
おたがいさまセンター「ちゃっと」事業	サポーター登録者数	人	266	350
ボランティアマッチング事業	マッチング件数	件(累計)	4,786	26,000
L G B T 理解促進研修事業	受講者数	人(累計)	1,040	5,700

施策 2：自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

① 都市機能が充実した拠点を形成する

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業（けやきいきいきプロジェクト事業）	高齢者等の相談件数	人／年	1,144	1,400
南部公民館機能充実事業	南部公民館の利用者数	人／年	31,007	36,000

② 安全・安心で、利便性、持続可能性の高い街をつくる

事務事業名	KPI（重要業績評価指標）	単位	基準値 (2019)	目標値 (2025)
高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業	1 便当たり乗車人数 (年平均)	人／便	1.6	2.1
コンビニ AED 設置	24 時間営業のコンビニの AED 設置率	%	100	100

○横断的取組 1

あらゆるひとが活躍できるまちをつくる



1. 横断的な取組の概要

地域で人と人とのつながりをつくる機会を充実させ、市民一人ひとりが魅力づくりの担い手となり市民が総活躍できるまちを目指す取組を横断的に実施します。

2. 基本的な視点

視点1：高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる

視点2：多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる

3. 具体的な取組

視点1：高齢者、障がい者などあらゆるひとの活躍の機会や場をつくる

基本目標	施策		事業名
1 しごと活力創生プロジェクト	2	②	ユニバーサル就労推進事業
4 暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	ボランティアマッチング事業
4 暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	日本語ボランティア養成事業

視点2：多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる

基本目標	施策		事業名
3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト	2	①	共生交流プラザ管理運営事業
3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト	2	①	学校運営協議会推進事業
4 暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	LGBT理解促進研修事業
4 暮らしの満足創生プロジェクト	4	①	おたがいさまセンター「ちゃっと」事業

○横断的取組 2

新たな時代の流れを力にして、持続可能なまちをつくる



1. 横断的な取組の概要

第2期総合戦略に位置付ける創生事業において次世代技術を積極的に活用し、豊明市における地域課題の解決や、魅力向上を図ります。

また、SDGsの理念に沿って地方創生を推進し、誰一人取り残さない持続可能で多様性のあるまちの実現を目指します。

2. 基本的な視点

視点1：次世代技術を活用し、行政・住民サービスの向上を目指す

視点2：SDGsの達成に向けた取組を推進する

3. 具体的な取組

視点1：次世代技術を活用し、行政・住民サービスの向上を目指す

基本目標	施策		事業名
4 暮らしの満足創生プロジェクト	1	①	いきいき笑顔ネットワーク事業
4 暮らしの満足創生プロジェクト	2	①	高齢者を中心とした交通不便地域における健康増進・地域経済好循環に向けたオンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ」事業

視点 2 : SDGS の達成に向けた取組を推進する

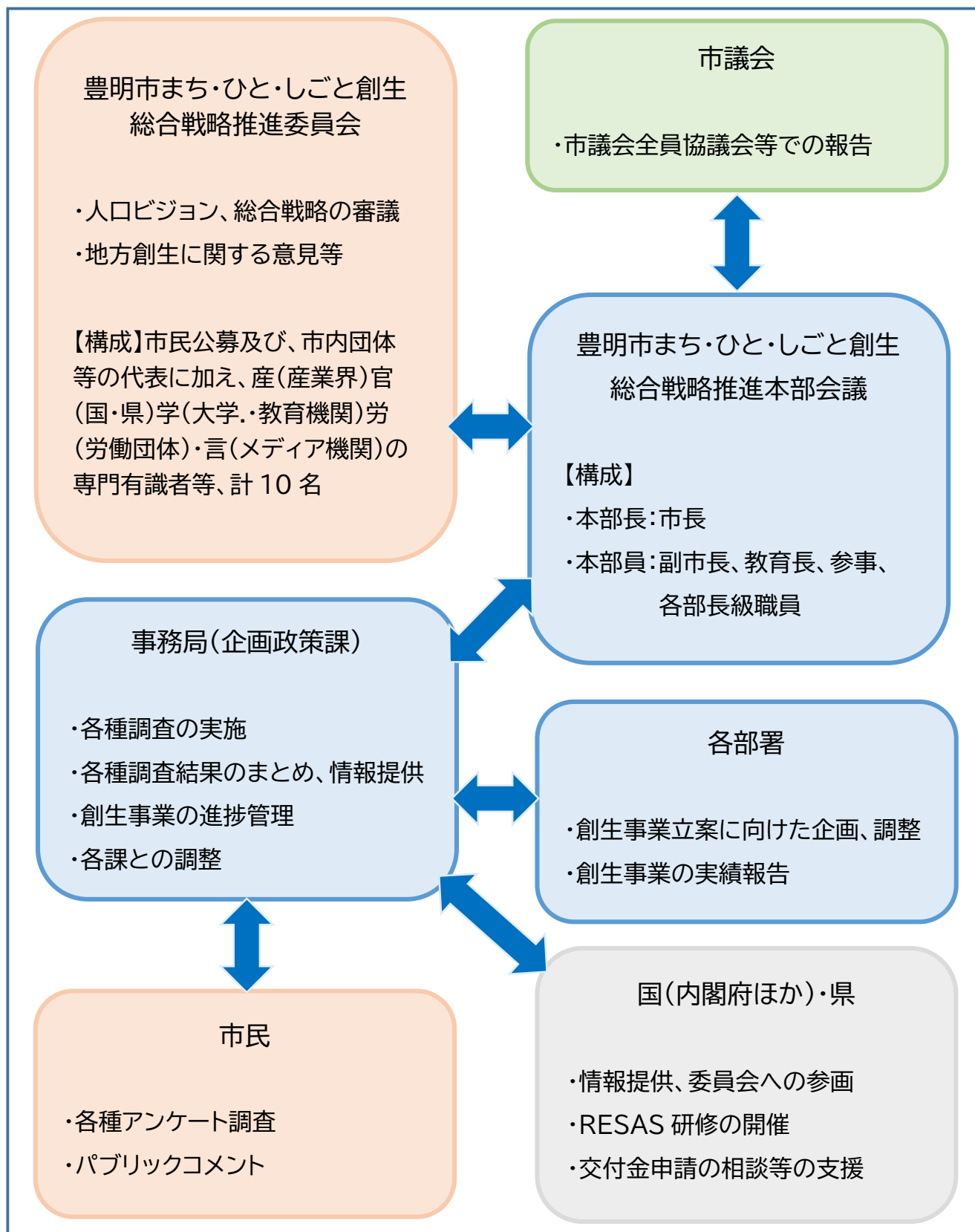
SDGS の推進について

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省 HP より抜粋）



第2期総合戦略では、持続可能な開発目標（SDGs）に沿って地方創生の取組をより一層の充実・深化につなげていくこととします。SDGsで掲げられている17のゴールの達成に向け、基本目標ごとに関連する主なゴールを設定し、第2期総合戦略に位置付けられている創生事業を実施していきます。

1. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定体制



2. 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

委員名簿

氏名		所属	役職等
1	岡本 一彦	あいち尾東農業協同組合	豊明基幹支店長
2	酒井 克俊	豊明市商工会	副会長
3	成瀬 友晃	名古屋鉄道株式会社	計画部計画課長
4	亀井 敏之	地方創生コンシェルジュ（愛知県担当） 中部経済産業局	地域経済部地域経済課長
5	佐治 幹夫	愛知県政策企画局	企画調整部地方創生課長
6	才藤 栄一	学校法人藤田学園	学長
7	根尾 文彦	学校法人桜花学園	教授
8	佐藤 元紀	連合愛知尾張東地域協議会	副代表
9	平木 友見子	中日新聞	記者
10	光岡 道則	市民公募	

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の検討経緯

開催日	議題
2019年10月15日（火）	・ 創生事業平成30年度実績報告など ・ 次期総合戦略の策定について
2020年10月30日（金）	・ 第1期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告について ・ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

第2期豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2024 改訂版)

2020(令和2)年度策定

2021(令和 3)年度改訂

2022(令和4)年度改訂

2023(令和5)年度改訂

2024(令和 6)年度改訂

豊明市 行政経営部 企画政策課

〒470-1195

愛知県豊明市新田町子持松 1 番地 1

0562-92-1111(代表)

